IHクッキングヒーター専用

室内循環フード

取扱説明書

deeo【ディーオ】とは、調理で発生する油とにおいをキャッチし、脱油（deoiling）と脱臭（deodorizing）をおこなう、富士工業独自の室内循環フード専用フィルタ機能です。

販売店・工事店様へ：
この取扱説明書は取り付け後、施主様へ必ずお渡しください。

このたびは室内循環フードをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

ご使用される前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは取付説明書とともにいつでも見られるところに大切に保管してください。

1J02 0782

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の２つに区別しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

：人が軽傷を負う可能性および物的損害*の発生が想定される内容。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

絵表示の例

⃠ 記号は禁止行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠ 警告

使用禁止

● **IH クッキングヒーター以外には使用禁止**
ガスコンロには使用できません
本製品は燃焼発生ガスを浄化できませんので、一酸化炭素中毒の原因となります

換気をする

● **燃焼器具と併用して使用する場合は、必ず換気をすること**
本製品は屋外への排気および換気をおこないません
カセットコンロ、石油ストーブ等の燃焼器具を使用する場合、必ず別途換気をおこなってください
一酸化炭素中毒の原因となります

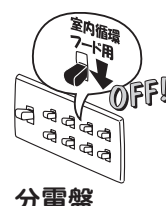
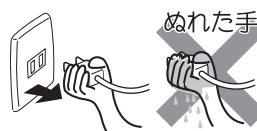
分解・修理改造禁止

● **修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造はしないこと**
火災・感電・けがの原因となります

水かけ禁止

● **電気部品(モータ・スイッチ等)は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと**
ショート・感電のおそれがあります

ブレーカを切る

● **お手入れやランプ交換の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカを切ることまた、ぬれた手で抜き差し、入／切しないこと**
感電やけがをすることがあります

ほこりをとる

● **電源プラグは刃、および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭くこと**
火災の原因となります

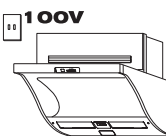
操作禁止

● **ガス漏れのときは、スイッチを入／切しないこと**
爆発・引火のおそれがあります

使用禁止

● **交流 100 Ｖ以外では使用しないこと**
火災・感電の原因となります

安全上のご注意

⚠注意

プラグを持って抜く

● **電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜くこと**

コードに傷がつき、火災や感電の原因となります

運転停止

● **調理中、油に火がついたときは、運転を止めること**

運転をしていると、火の勢いがよけいに強くなり危険です

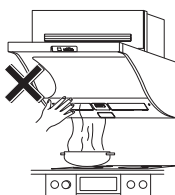
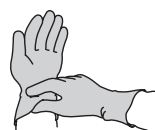
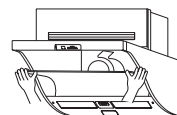
接触禁止

● **運転中は指や物を絶対に入れないこと**

けがをするおそれがあります

接触禁止

● **調理中は、整流板や周辺の部品に手を触れないこと**

整流板や部品が落下して、やけどやけがをすることがあります

接触禁止

● **ランプカバーやその周辺には手を触れないこと**

高温になるためやけどをすることがあります

使用禁止

● **本体に異常な振動が発生した場合、使用しないこと**

本体・部品の落下によりけがをするおそれがあります

禁　止

● **室内循環フードの上に物を置かないこと**

落下してけがをしたり、災や故障の原因となります

使用禁止

● **指定以外のランプを使わないこと**

ランプカバー周辺が高温となり、やけどのおそれがあります

運転停止

● **室内くんじょうタイプ（発煙型）の殺虫剤を使用する際は運転をしない**

本体内部に薬剤成分が蓄積し、その後運転したときに薬剤成分が放出され、健康を害する原因となります

殺虫剤の使用後は、十分換気をしてから運転してください

プラグを抜く

● **長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカを切ること**

絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となります

分電盤

手袋をする

● **お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること**

鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります

取付注意

● **お手入れの際にはずした整流板やファン、部品の取り付けは確実におこなうこと**

落下によりけがをするおそれがあります

落下注意

● **整流板を本体から取りはずさずに、図のような状態でお手入れをしないこと**

落下するとけがをしたり、部品の傷・変形の原因となります

落下注意

● **部品を落とさないように両手でしっかりと支えること**

落下するとけがをしたり、部品の傷・変形の原因となります

高温注意

● **ランプの交換は、ガラスやランプが十分冷めてから行うこと**

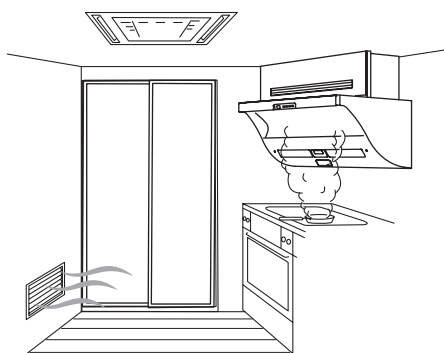
やけどのおそれがあります

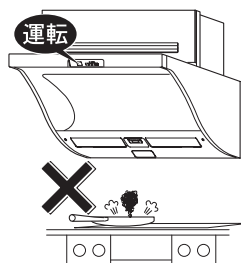
使用上のお願い

● **ＩＨクッキングヒーターを使用するときは、必ず室内循環フードを運転してください**

運転しないと室内循環フード内の温度が上がり、製品の損傷や高熱による故障の原因となります

● **キッチン全体の換気は別途おこなってください**

本室内循環フードには換気機能はありません
建築基準法に従った換気設備が別途必要となります

● **ＩＨクッキングヒーターの空焚きは絶対にしないでください**

製品の損傷や高熱による故障の原因となります

● **市販のグリスフィルターに交換したり、重ねて使用しないでください**

吸い込みが悪くなり、異音・振動が発生する場合があります
性能を維持するため、純正の金属製グリスフィルター（スロットフィルタ）をご使用ください

● **部屋の扉や窓からの風が強い場合には、横風等の影響で捕集性能が悪くなる場合があります**

室内循環フード近辺の扉や窓からの横風等の影響がないようにしてください

● **キッチンの気温が低いときに使用された場合には室内循環フードの表面が結露することがあります**

この場合は拭き取って使用してください

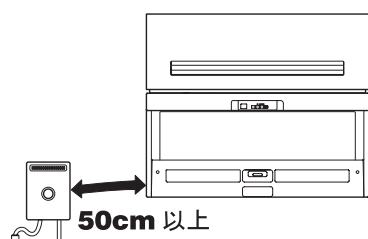
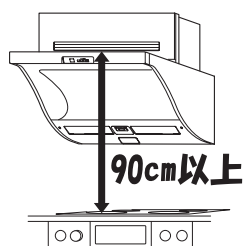
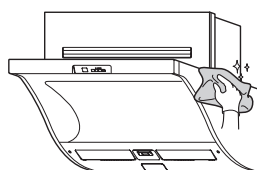
● **グリル付のＩＨクッキングヒーターと合わせて使用する場合、グリル排気口から出る煙によって、壁パネルもしくはランプカバー表面が結露することがあります**

この場合は拭き取って使用してください

● **エアコンの風が直接あたらないようにしてください**

風を受けると、捕集性能が悪くなります
オープンな場所では特に室内循環フードから漏れやすくなります

使用上のお願い

● **湯沸器は室内循環フードから 50cｍ以上離してください**
室内循環フードの下部には湯沸器を絶対に取り付けないでください
製品の損傷や高熱による故障の原因となります

● **製品本体の上面がＩＨクッキングヒーターの真上、90㎝以上に取り付けてあるか確認してください**
火災予防条例では火災予防のため、製品の下端から調理器具の真上まで 80㎝以上必要となっています

● **汚れてきたらその都度お手入れをしてください**
特に下端部は油汚れがつきやすいので、滴下する前にふき取ってご使用ください

● **本製品は煙を取り除きますが、多量の煙や料理がこげた際に発生する煙などは除去できない場合があります**
一時的に室内へ煙が充満しますので、窓を開けるなど、換気を行ってください
グリル（ロースター）をご使用の場合には、脱煙機能を備えたＩＨクッキングヒーターをご使用ください

● **フィルタは定期的に交換してください**
本製品には、脱臭フィルタ･脱煙フィルタ･エアフィルタ・油吸着フィルタの４種類のフィルタが搭載されています
長期間交換しないで使用しつづけると、煙や油・においが除去できずに、室内に放出されてしまいます

交換の目安：
脱臭フィルタ・脱煙フィルタ・
エアフィルタ.............. ３年
油吸着フィルタ............ １２年
（各フィルタのメンテナンスについては 19 ページをご覧ください。）

● **お客様ご自身でのフィルタの交換・処分はおこなわないでください**
- 各フィルタの交換・回収・処分はフジテックメンテナンス㈱および指定の業者のサービスマンがおこないます
（各フィルタのメンテナンスについては 19 ページをご覧ください）
- フィルタを幼児の手の届くところに置かないでください
- 誤ってフィルタを口に入れたり、飲み込んだりした場合は、うがいをし、すぐに医師の診断を受けてください
- フィルタは本製品以外には使用しないでください

● **吹出し口をふさがないでください**
風の出る方向に物を置かないでください
また、お手入れの際などにルーバーの向きが変わってしまった場合は、適宜調整してください

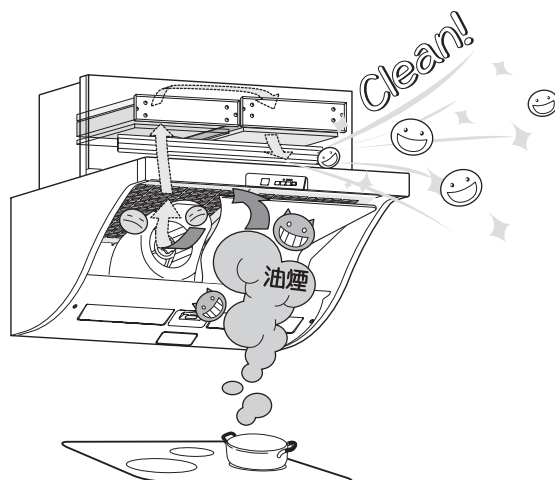
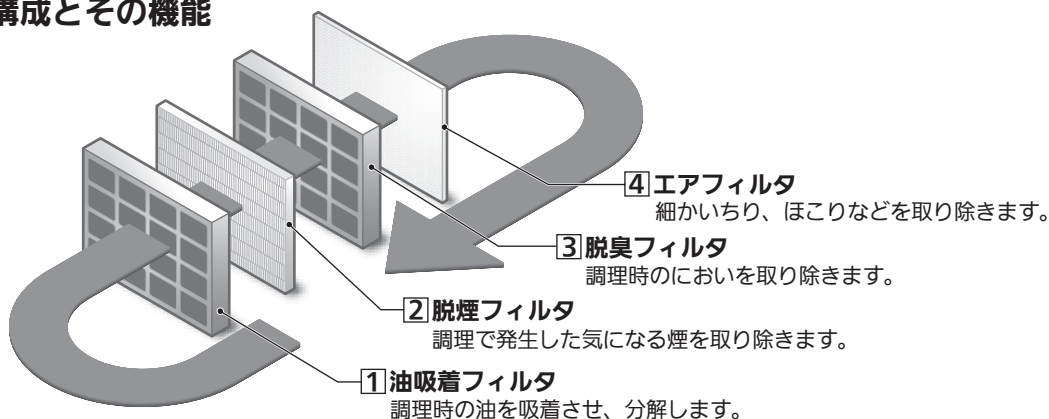
● **レンジフードファンの照明を点灯しているとき、近くでテレビやラジオを使用されますと、雑音が入る場合があります**
その際はテレビやラジオを遠ざけるか、またはテレビやラジオの向きを変えてください

● **お手入れの際などに、吹出し口から中に物を入れたり、水や洗剤をかけないでください**
故障の原因になります

使いかた

製品の特長

◆ 室内循環フードについて

本製品はＩＨクッキングヒーター専用のダクトレス室内循環フードです。調理時に発生する油煙やにおいを富士工業独自の専用フィルタ機能（deeo【ディーオ】）で、吸収・ろ過した空気を室内に循環させます。そのため、冷暖房効率に優れています。

◆ フィルタの構成とその機能

4 エアフィルタ
細かいちり、ほこりなどを取り除きます。

3 脱臭フィルタ
調理時のにおいを取り除きます。

2 脱煙フィルタ
調理で発生した気になる煙を取り除きます。

1 油吸着フィルタ
調理時の油を吸着させ、分解します。

deeo【ディーオ】とは、調理で発生する油とにおいをキャッチし、脱油（deoiling）と脱臭（deodorizing）をおこなう、富士工業独自の室内循環フード専用フィルタ機能です。

脱煙フィルタには SEK 基準の「制菌加工」の認証を得た素材を使用しています。

SEK 基準とは「（社）繊維評価技術評議会」で統一された試験方法および評価基準です。

◆ 運転停止装置について（温度センサ）

炎などによる異常な高温を感知すると電源回路を遮断し、製品を保護する安全装置を備えています。
正常温度に戻ると自動的に復帰します。

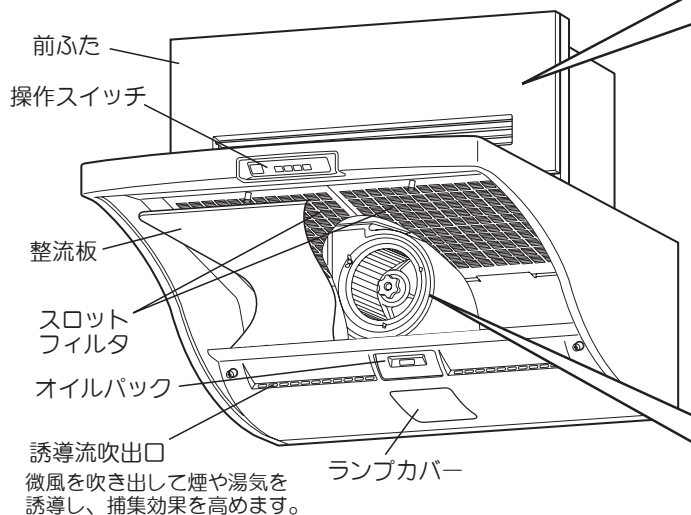
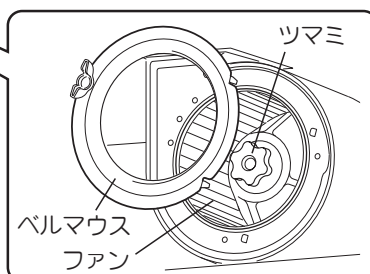
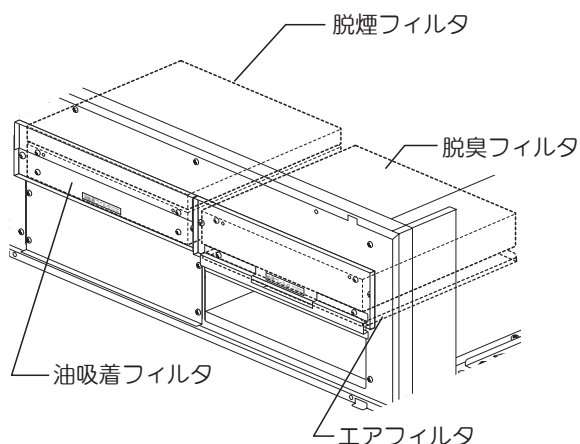
脱臭フィルタ、脱煙フィルタ、エアフィルタおよび油吸着フィルタの交換について

フィルタの交換時期は本製品のご使用頻度により異なりますが、脱臭フィルタ、脱煙フィルタおよびエアフィルタの交換目安はおよそ３年、油吸着フィルタは１２年です。
各フィルタともに本製品専用のフィルタ（別売品）をご使用ください。
フィルタの交換につきましては、「フジテックメンテナンス㈱」にお問い合わせください。（19 ページ参照）

お願い

●各フィルタの交換・回収・処分はフジテックメンテナンス㈱および指定の業者のサービスマンがおこないますのでお客様ご自身での交換・処分はおこなわないでください。

使いかた

各部のなまえ

◆ 3分後切スイッチについて

切スイッチを押すと３分間のタイマー運転をおこない、調理後のにおいやファンに付いた油汚れを落としますので、調理が終わった後にご使用ください。

◆ 切り忘れ防止タイマーについて

最後に操作したときから約５時間運転し続けると自動的に運転を停止（連続運転中は停止しません）し、照明を消灯します。

◆ ルーバー（風向板）について

本体前ふたにあるルーバー（風向板）により、排気の吹出し方向を自由に変えることができます。お好みの方向に調節してお使いください。

◆ 整流板について

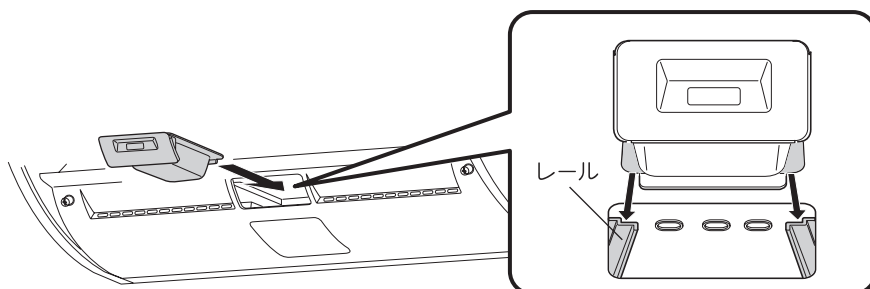
整流板を取り付けることによって、整流板周りの吸い込み速度がアップし、フード外へ逃げようとする油煙を効率よく捕獲します。そのため、整流板は必ず取り付けた状態でご使用ください。

お願い

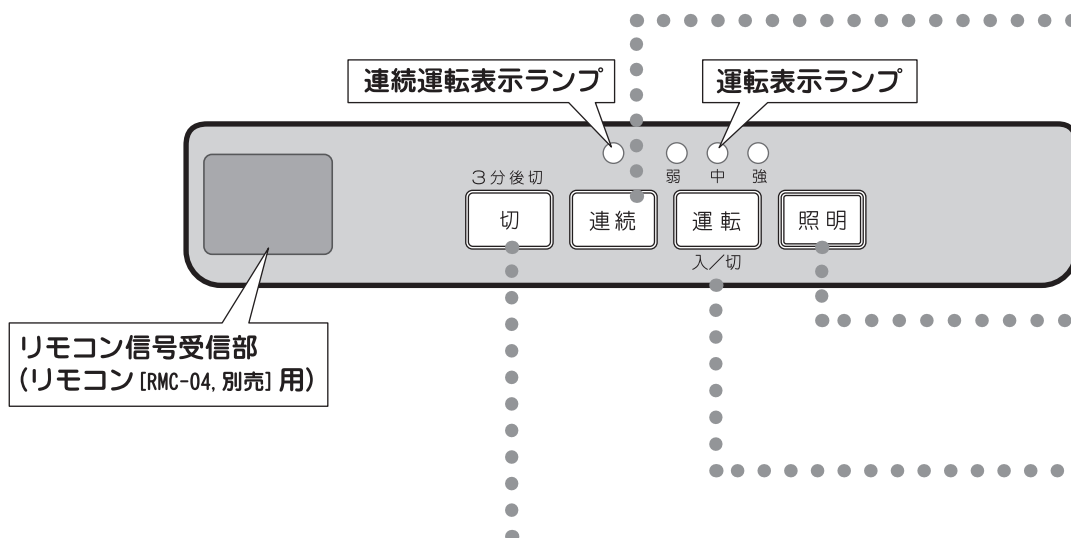
●ルーバーは風の流れの妨げにならないよう、なるべく正面に吹き出すように、向きを揃えて調整してください。
ルーバーが閉じた状態で使用すると吸い込みが悪くなり、異音・振動などの原因となることがあります。
●吹出し口から中に物を入れたり、水や洗剤をかけないでください。故障の原因になります。

使用前の準備

■ オイルパックが下図の所定位置に正しくセットされているか、確認してください。

※ オイルパックが正しくセットされていないと、油が調理器具に流れ落ちます。

使いかた

スイッチ

レンジフードファンの操作には別売リモコンスイッチ（品番：RMC-04）もご使用になれます。
（リモコンスイッチでは連続の設定／解除、およびスイッチのロック／ロック解除はできません）

3分後切 切　3分後切スイッチ

通常、調理が終わった後は、3分後切 切 スイッチを押してください。ご使用になっていた運転の運転表示ランプが点滅し、そのままの風量で約３分間運転し続けて自動的に運転を停止します。３分間のタイマー運転により、調理の後の臭いやファンについた油汚れなどを落とします。

※ 連続モードが設定されている場合は、約３分後に連続運転に切り替わります。
※ 照明は消えません。照明スイッチを押すと消えます。

● スイッチの「ロック」（操作機能全てが「切」状態になります）

3分後切 切 スイッチを約３秒間押し続けると「ピー」と音が鳴り、スイッチがロックされ、ファンは停止し、照明も消灯されます。この状態で、「切」以外のスイッチを押しても「ピピッ」と警告音が鳴り、ファン・照明は作動しません。
また、別売リモコンスイッチの操作もできません。
「ロック」を解除するには、もう一度「ピー」と音がするまで 3分後切 切 スイッチを約３秒間押し続けます。ロック解除後は、必要に応じて連続、照明、運転・風量切替スイッチを再操作してください。
※ ロック操作は調理を終え、レンジフードファンが十分冷めた状態でおこなってください。
※ 停電した場合やブレーカを切った場合は、ロックは解除されます。

連続

連続スイッチ

調理やお手入れのときを除き、連続運転ができます。(風量は「弱」よりも少ない微弱モードで運転します。)
スイッチを押すと連続モードに設定されます。
連続モードを解除するには約３秒間押し続けます。

● 連続運転時（連続運転表示ランプが点灯）に 弱 中 強 運転 入／切 スイッチ（弱・中・強）を押すと、フード運転に切り替わり、設定された風量で運転し続けます。運転スイッチを「切」状態または 3分後切 切 スイッチを押すと、連続運転に切り替わります。

※ フード運転時に連続の設定／解除はできません。（フード機能が優先されます。）
※ 専用調理器具と連動運転の場合も同様です。

照明

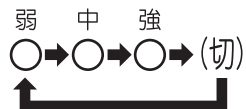
照明入／切スイッチ

押すと照明が点灯します。スイッチを押すたびに点灯／消灯を繰り返します。

弱 中 強
運転
入／切

運転・風量切替スイッチ

スイッチを押すたびに設定が変わり運転表示ランプが切り替わります。ただし「強」の次は「切」になります。(「切」の表示ランプはありません。)

弱：静かに運転したいとき。
中：通常の運転のとき。
強：調理が多いとき。
切：運転を停止したいとき。連続に戻したいとき。

連続モードに設定されている場合は、「切」にすると連続運転に戻ります。

室内循環フード連動タイプ専用調理器具と組み合わせてご使用になる場合

●連動調理器具をオンにすると、自動的に室内循環フードは「中」運転をおこないます。
この状態から室内循環フードのスイッチ (切、風量切替、照明) 操作がおこなえます。

●調理器具をオフにすると、室内循環フードはそのままの風量で約３分間運転を続け、自動的に運転を停止します。
照明はもとのままの状態です。

●室内循環フードの風量調節および照明の入／切などの操作を調理器具前面の操作パネルでもおこなえます
(詳細については調理器具の取扱説明書をご覧ください)。

※ 対応する調理器具はＮＥＣフォーマットで富士工業コードの赤外線信号を発信する機種に限定されます。
調理器具のお問い合わせ・お求めは各調理器具メーカーへお尋ねください。

■東芝ホームアプライアンス株式会社 ■日立アプライアンス株式会社 ■三菱電機株式会社

1J02 0782

お手入れのしかた

⚠警告

ブレーカを切る

● **お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカを切ること また、ぬれた手で抜き差し、入／切しないこと**

感電やけがをすることがあります

水かけ禁止

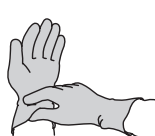
● **電気部品（モータ・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと**

ショート・感電のおそれがあります

⚠注意

手袋をする

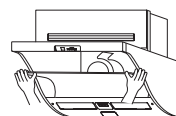
● **お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること**

鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります

水かけ禁止

● **お手入れの際などに、吹出し口から中に物を入れたり、水や洗剤をかけないこと**

故障の原因となります

取付注意

● **お手入れの際にはずした整流板やファン、部品の取り付けは確実におこなうこと**

落下によりけがをするおそれがあります

お願い

●お客様ご自身でのフィルタの交換・処分はおこなわないでください。
各フィルタの交換・回収・処分はフジテックメンテナンス㈱および指定の業者のサービスマンがおこないます。
（各フィルタのメンテナンスについては 19 ページをご覧ください。）

お手入れの際のお願い

● **おそうじはこまめにする**
・油が付着した状態で長期間ご使用になりますと、酸化した油で塗装面が変質して塗装はがれの原因になります。
【変質がひどいと擦っただけではがれることがあります。】

● **中性洗剤を使う**
・おそうじの際には台所用中性洗剤をご使用ください。右図のものを使用されますと塗装面が変色したり、キズがついたり、はがれたりするおそれがあります。
汚れがひどく、アルカリ性合成洗剤を使われる場合は、洗剤に表示されている使用上の注意をよくお読みになって、目立たないところで試してからご使用ください。

油汚れ落としに最適な、弊社推奨の弱アルカリ洗剤「サットレールスプレー」、「サットレールシート」があります。また、ファン内部の清掃も有償でおこなっております。
詳細は「フジテックメンテナンス㈱」にお問い合わせください。（19 ページ参照）

● **熱湯は変形のもと**
・６０℃以上の熱湯は使用しないでください。樹脂部品が変形するおそれがあります。

● **ファンを変形させない**
・ぶつけたり、落としたりして変形したファンで運転すると、振動や異音が発生するおそれがあります。

● **ファンをはずした状態では運転しない**
・ファンをはずした状態で運転しないでください。モータが過熱して故障の原因になります。

● **スロットフィルタは専用のものを使う**
・一般市販品をご使用になりますと通気抵抗が大きくなり、吸い込みが悪くなったり音が大きくなるなど故障の原因になりますので、絶対に使用しないでください。また、金属製以外のグリスフィルタをご使用になると、火災の原因となるおそれがありますので、これらの使用は絶対にやめてください。

● **食器洗い乾燥機は使用しない**
・とりはずした部品は食器洗い乾燥機で洗わないでください。塗装がはがれるおそれがあります。

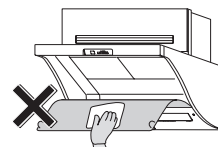
お手入れのしかた

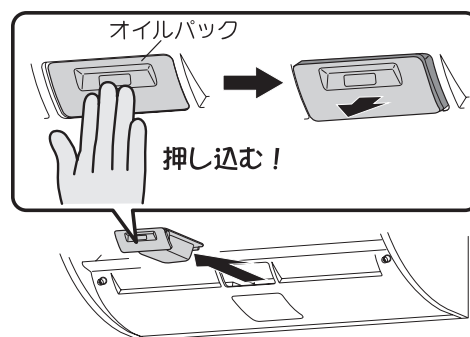
取りはずしのしかた

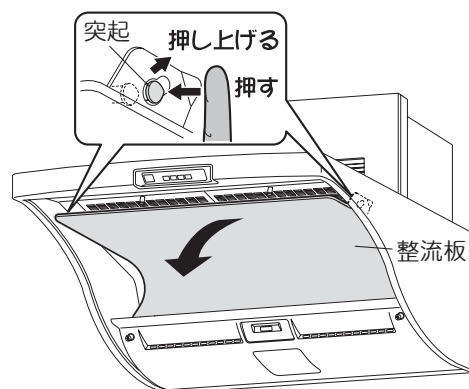
⚠ 注意

落下注意

- 整流板を落とさないように両手でしっかりと支えること
- 整流板を本体から取りはずさずに、右図のような状態でお手入れをしないこと

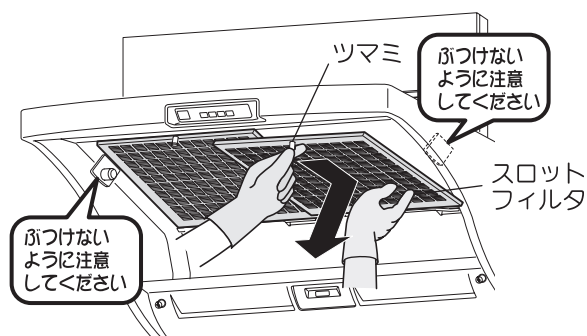
落下するとけがをしたり、部品の傷・変形の原因となります

1 **オイルパックをはずします。**

オイルパックの前面を押し込むと、少し前に出てきます。
両端を持ってゆっくり手前に引き出します。
※ 油をこぼさないようにご注意ください。

2 **整流板をはずします。**

整流板を左右から両手で支え、押し上げながら上部両角の突起を押し込み、手前にゆっくりと倒しながら取りはずします。

3 **スロットフィルタをはずします。**

スロットフィルタのツマミを持って押しさげると、手前に取りはずせます。

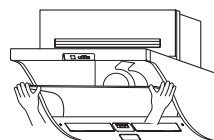
お願い

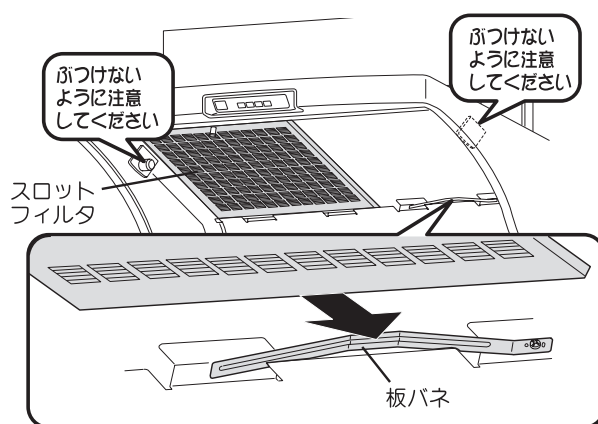
- スロットフィルタをはずす際は、必ず手を添えてください。（添えないと手前に落下し、けがをするおそれがあります。）

お手入れのしかた

組み立てのしかた

警告

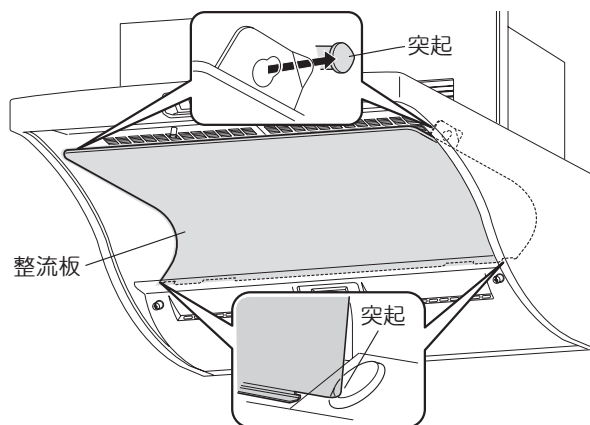
取付注意

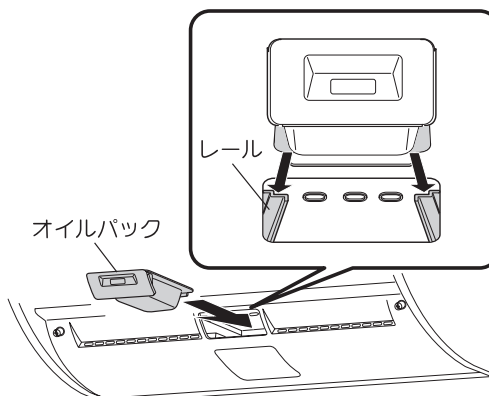
● **お手入れの際にはずした整流板やスロットフィルタの取り付けは確実におこなうこと**
落下によりけがをするおそれがあります

1 スロットフィルタを取り付けます。

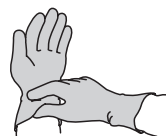
スロットフィルタ下部を、本体の板バネに押し付けながら取り付けます。

2 整流板を取り付けます。

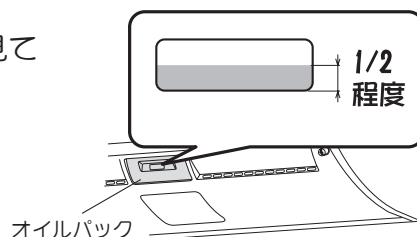
整流板をしっかり両手で持って、下側から取り付けます。この際、整流板の下端が本体側の突起より手前になるようにします。次に上部両角の突起により確実に固定されるまで押し込みます。

お願い

● 整流板の固定は確実に行ってください。
ロックが不十分ですと落下の原因になります。

3 オイルパックを取り付けます。

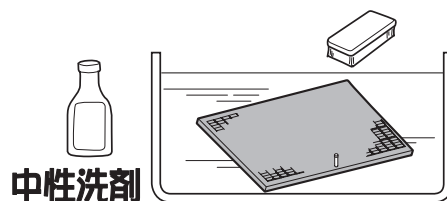
オイルパックを本体のレールに乗せて取り付けます。オイルパックの前面を奥まで押し込み手を離すと、定位置に戻ります。

お手入れのしかた

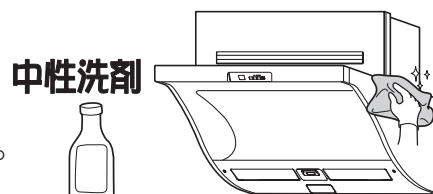
取りはずしのしかた、組み立てのしかたは 11・12 ページをご参照ください。

こまめにおそうじしてください。
油が付着した状態で長期間ご使用になりますと、酸化した油で塗装面が変質して塗装はがれの原因になります。
早めにおそうじいただきますと、汚れが簡単に落とせますし、塗装面の劣化も防げます。

オイルパックは前面から油のたまり具合が確認できますので、窓から見て 1/2 位たまったら、オイルパックを引き出して油を捨ててください。

■ スロットフィルタ

（汚れたらその都度お手入れしてください。 目安：１ヶ月に１回程度）
中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸したのち、表面のやわらかい布やスポンジなどで洗ってください。
汚れを落としたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水気をとってから取り付けてください。

お願い

●スロットフィルタはこまめにおそうじしてください。目詰まりを放置すると、換気不良や異音・振動の原因となります。

■ 本体・整流板

（汚れたらその都度お手入れしてください。 目安：１ヶ月に１回程度）
ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をやわらかいスポンジや布に含ませ、汚れをふき取ってください。
その後、洗剤が残らないように水で湿らせた布でよくふき取ってください。

お手入れのしかた

お願い

- 整流板の裏面は汚れが強い場合があります。この場合は中性洗剤溶液に浸して、油が落ちやすくなってから汚れをふきとってください。
- 整流板は必ずフードから取りはずしてお手入れをしてください。
- はずした整流板は平らな面でお手入れしてください。（変形・キズの原因となります。）
- 整流板は食器洗い乾燥機に入れないでください。塗膜の劣化により、塗装がはがれるおそれがあります。

■ オイルパック

（汚れたらその都度お手入れしてください。　目安：１ヶ月に１回程度）
やわらかい布などで油をふき取り、ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をやわらかいスポンジや布に含ませ洗ってください。
その後、洗剤が残らないように水洗いし、水気をとってから取り付けてください。

中性洗剤

※ 完了後は、電源プラグを抜いた場合は電源プラグをしっかり差し込んでください。
　ブレーカを切った場合はブレーカを入れてください。

ファンのお手入れのしかた

⚠警告

ブレーカを切る

- **お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカを切ること**
  また、ぬれた手で抜き差し、入／切しないこと
  感電やけがをすることがあります

分電盤

水かけ禁止

- **電気部品（モータ•スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと**
  ショート・感電のおそれがあります

禁　止

- **調理器具を使用中には絶対にお手入れはしないこと**

⚠注意

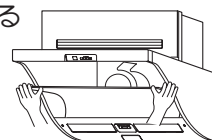
手袋をする

- **お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること**
  鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります

落下注意

- **部品を落とさないように両手でしっかりと支えること**
  落下するとけがをしたり、部品の傷・変形の原因となります

取付注意

- **お手入れの際にはずした整流板やファン、部品の取り付けは確実におこなうこと**
  落下によりけがをするおそれがあります

お手入れのしかた

汚れがひどい場合でファンもお手入れする場合には次の手順で行ってください。

■ ファンのはずしかた

1 **整流板・スロットフィルタをはずします。**
（11 ページの「取りはずしのしかた」をご参照ください。）

2 **内面パネルをはずします。**
２ヶ所の内面パネル固定ねじをはずして内面パネルを取りはずします。

3 **ベルマウスをはずします。**
ベルマウスの取付ねじ１ヶ所を手でゆるめ、右側２ヶ所のツメからスライドさせてベルマウスをはずします。

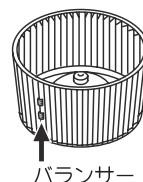
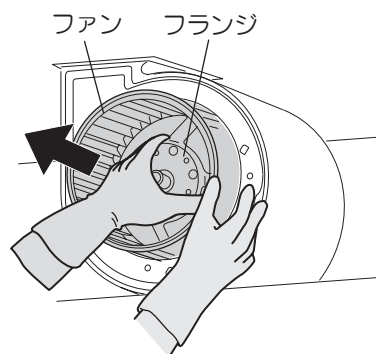
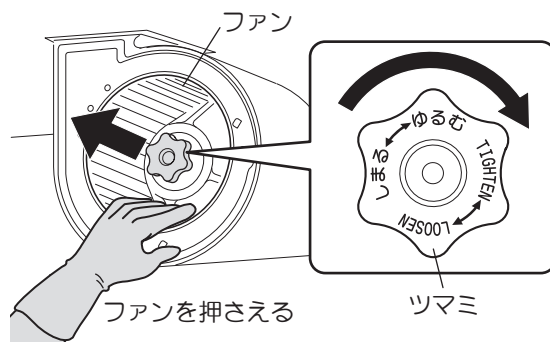
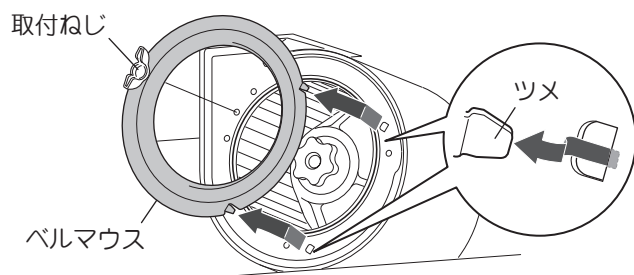
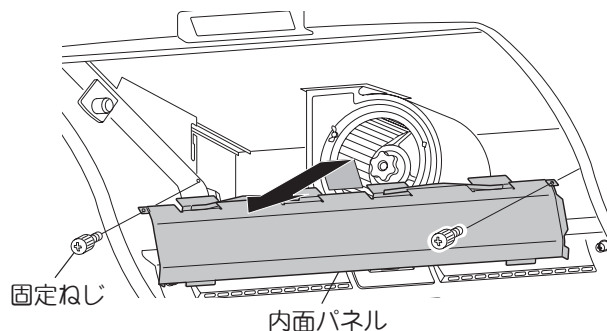
4 **ファンをはずします。**
1）ファンが回らないように軽く押さえながら、ツマミを「ゆるむ」に方向に回してはずします。

お願い

●強く押さえるとファンが変形することがありますのでご注意ください。

2）ファンの中央にあるフランジを持ち、少し手前に引き出したあと、両手で持ちかえてファンを引き出します。

お願い

●ファンを強く押さえたり、ぶつけたり、落としたりして変形させないでください。（異常な音や振動の原因となります。）
●ファンの回転バランスをとるために、バランサー（重り）がついている場合がありますが、絶対にはずさないでください。（バランスがくずれ、吸い込みが悪くなったり、異音や振動の原因となります。）

お手入れのしかた

■ ファンの洗いかた

ファンを本体からはずし、中性洗剤を溶かしたぬるま湯につけて洗ってください。
汚れを落としたあと、洗剤が残らないよう水洗いし、水気を取ってから取り付けてください。

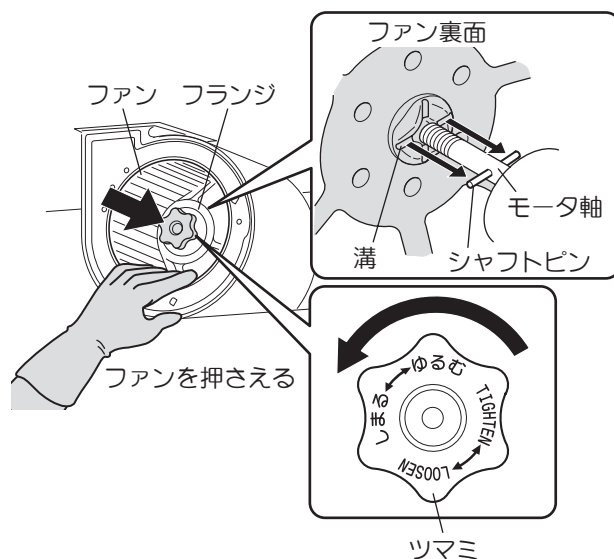
■ ファンの取り付けかた

1 **ファンを取り付けます。**

1）本体開口部からファンを入れ、フランジ中央部の穴にモータ回転軸を通し、フランジを確実に奥まで差し込みます。

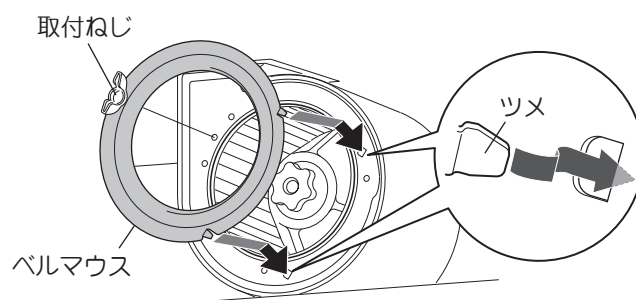
2）ファンが回らないように軽く手でおさえながら、ツマミを「しまる」の方向に回して締め付けます。

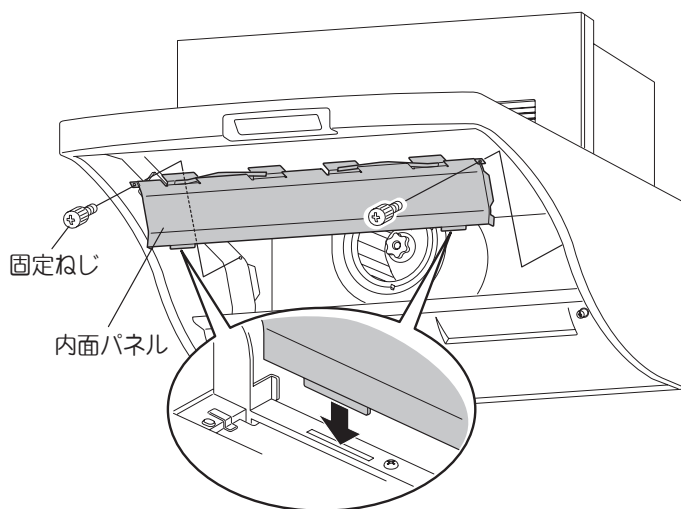
お願い

●ファン裏面の溝がシャフトピンに合っていないと異常音や落下の原因となります。
●強く押さえるとファンが変形することがありますのでご注意ください。

2 **ベルマウスを取り付けます。**

ベルマウスのツメ２ヶ所を穴に差し込み、取付ねじ１ヶ所を締め付けて固定します。

お願い

●ファンを手で回してこすれ音などがないことを確認してください。

お手入れのしかた

3 **内面パネルを取り付けます。**
内面パネル下部のツメ２ヶ所を差し込み、固定ねじで２ヶ所を締め付けてください。

4 **整流板・スロットフィルタを取り付けます。**
（12 ページの「組み立てのしかた」をご参照ください。）

※ 完了後は、電源プラグを抜いた場合は電源プラグをしっかり差し込んでください。
ブレーカを切った場合はブレーカを入れてください。

ランプ交換のしかた

ご使用のランプが切れたときは、下記の市販のミニ電球または電球形蛍光灯を購入し、交換してください。

- ミニ電球　　　　定格１００Ｖ　４０W形　口金Ｅ１７
- 電球形蛍光灯　　定格１００Ｖ　電球４０W形　口金Ｅ１７
  形名ＥＦＤ１０Ｅ形（取り付け可能寸法：長さ９１mm以下、直径４５mm以下）

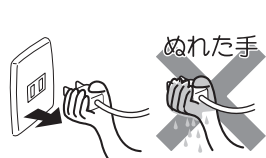
⚠ 警告

ブレーカを切る

- **ランプ交換の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカを切ること**
  また、ぬれた手で抜き差し、入／切しないこと
  感電やけがをすることがあります

禁　止

- **調理器具を使用中には絶対にお手入れはしないこと**

⚠ 注意

手袋をする

- **お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること**
  鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります

高温注意

- **ランプの交換は、ガラスやランプが十分冷めてから行うこと**
  やけどのおそれがあります

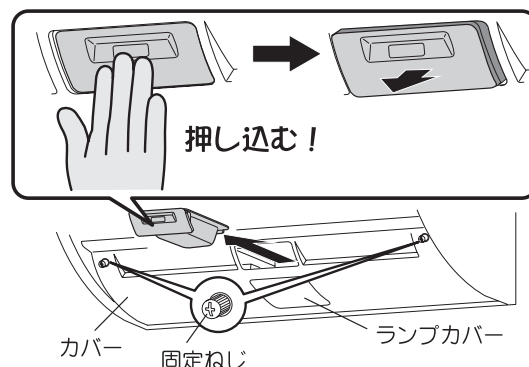
使用禁止

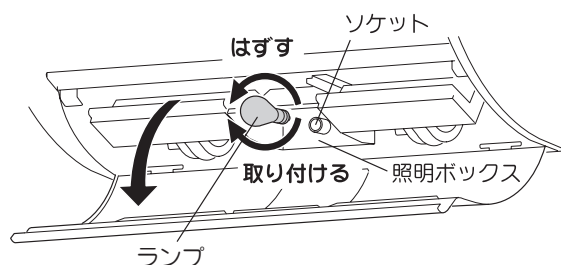
- **指定以外のランプを使わないこと**
  ランプカバー周辺が高温となり、故障ややけどのおそれがあります

お手入れのしかた

1 **オイルパックをはずします。**

オイルパックの前面を押し込むと、少し前に出てきます。
両端をもってゆっくり手前に引き出します。

※ 油をこぼさないようにご注意ください。

2 **カバーを開きます。**

２ヶ所のカバー固定ねじをはずして、カバーを開きます。

3 **ランプを交換します。**

切れたランプを取りはずし、ソケットに新しいランプを確実に固定します。

4 **カバーを閉じ、オイルパックを取り付けます。**

２ヶ所のカバー固定ねじでカバーを固定し、オイルパックをセットします。

※ 完了後は、電源プラグを抜いた場合は電源プラグをしっかり差し込んでください。
ブレーカを切った場合はブレーカを入れてください。

お手入れのしかた

各フィルタについて

脱臭フィルタ、脱煙フィルタ、エアフィルタおよび油吸着フィルタの交換および処分について

● **脱臭フィルタ、脱煙フィルタ、エアフィルタ**
【型番：ADFRK-33346（脱臭フィルタ・脱煙フィルタ・エアフィルタのセットです）**】**
交換目安はおよそ３年ですが、使用条件により交換時期が変動します。
また、交換後も油くさいにおいがあるときは、油吸着フィルタの交換が必要です。

● **油吸着フィルタ【型番：MFRK-33346】**
交換目安はおよそ１２年ですが、使用条件により交換時期が変動します。
また、脱臭フィルタ交換後も油くさいにおいがあるときは、交換目安に限らず油吸着フィルタの交換が必要です。

各フィルタともに本室内循環フード専用のフィルタをお使いください。
フィルタ交換の際は下記までお問い合わせください。

フィルタ交換のお申し込み・お問い合わせは、
販売窓口の「フジテックメンテナンス」まで

フリーダイヤルもしくはFAXで受け付けております。

フリーダイヤル **0120-953-903**　ＦＡＸ **042-768-3383**

受付時間９：００～１７：４５（土、日、祝日、夏季休暇、年末年始を除く）

お願い

●お客様ご自身でのフィルタの交換・処分はおこなわないでください。
各フィルタの交換・回収・処分はフジテックメンテナンス㈱および指定の業者のサービスマンがおこないます。

代金について

●各フィルタの交換・回収・処分は有償となります。
●代金のお見積についてはフジテックメンテナンス㈱までお問い合わせください。

ご注意

●訪問販売による高額な使い捨てスロットフィルタ（グリスフィルター）のクレームが多発しておりますが、当社とは一切関係ありません。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

●当社はお客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報は、ご注文品の発送や確認業務、アフターメンテナンスの対応などに利用することとし、それ以外の目的には利用いたしません。

故障かなと思ったら

修理を依頼されるまえに　次の点をもう１度お調べください。

症　状	考えられる原因	処　置
● スイッチを入れてもファン・照明の電源が入らない。 ● ファンがまわらない。	● 周囲が異常温度になっている。（自動停止装置が作動している。） ● 分電盤のブレーカが「切」になっている。 ● ロック状態になっている。 ● 電源プラグがはずれている。 ● コネクタがはずれている。	● 換気をおこない、周囲の温度を下げる。 ● 分電盤のブレーカを「入」にする。 ● ロックを解除する。（８ページ参照） ●「フジテックメンテナンス㈱」に連絡する。（19 ページ参照） ●「フジテックメンテナンス㈱」に連絡する。（19 ページ参照）
● 照明がつかない。	● ランプが切れている。 ● ランプの取り付けがゆるんでいる。	● ランプの交換をする。 ● ランプを取り付け直す。（18 ページ参照）
● 異音がする。	● スロットフィルタが汚れている。 ● ファンのツマミがゆるんでいる。 ● ファンの取り付けが不十分。 ● ベルマウスの取付ねじがゆるんでいる。	● スロットフィルタをそうじする。（13 ページ参照） ● ファンのツマミを締め直す。（16 ページ参照） ● ファンを取り付け直す。（16､17 ページ参照） ● ベルマウスを取り付け直す。（16 ページ参照）
● 吸い込みが悪い。	● 市販のグリスフィルターを重ねている。 ● エアコンや窓からの風があたっている。 ● スロットフィルタが汚れて目詰まりしている。 ● フィルタが汚れている。（使用頻度が多いか、使用期限を過ぎている。） ● 吹出し口が閉じている。	● 市販のグリスフィルターをはずす。 ● 風があたらないようにする。 ● スロットフィルタをそうじする。（13 ページ参照） ●「フジテックメンテナンス㈱」に連絡する。（19 ページ参照） ● ルーバーの向きを調整する。
● オイルパックに油がたまらない。	● 油料理の頻度や気候により油のたまり具合が異なるため。 ● 本体や整流板などに油がついている。（送風機以外についた油はオイルパックにはたまりません。）	● オイルパックに油がたまってから捨てる。（14 ページ参照） ● 本体や整流板についた油はその都度ふきとる。
● リモコンスイッチを操作しても動作しない。（別売リモコンを使用している場合）	● 電池が消耗している。 ● 電池の向きが間違っている。 ● リモコンの発信部や本体操作スイッチの受信部が油で汚れている。 ● ロック状態になっている。（ロック状態ではリモコンスイッチを押すと「ピピッ」という音がします。）	● 電池を交換する。 ● 電池を正しく入れる。 ● 発信部・受信部を掃除する。 ● ロックを解除する。（８ページ参照）
● 運転が止まらない。	● 連続モードが設定されている。	● 連続モードを使用しない場合は設定を解除する。（９ページ参照）
● 臭いが取れない。	● フィルタが汚れている。（使用頻度が多いか、使用期限を過ぎている。）	●「フジテックメンテナンス㈱」に連絡する。（19 ページ参照）
● 振動が大きい。	● ファンのバランスがくずれている。 ● フィルタが汚れている。（使用頻度が多いか、使用期限を過ぎている。）	● 修理を依頼する。 ●「フジテックメンテナンス㈱」に連絡する。（19 ページ参照）
● 吹出し口から煙が出てくる。	● 煙が多い調理をおこなっている。 ● フィルタが汚れている。（使用頻度が多いか、使用期限を過ぎている。）	● 窓を開けるなど、換気をおこなう。 ●「フジテックメンテナンス㈱」に連絡する。（19 ページ参照）

仕様

<table>
<tr><th>定格電圧
(V)</th><th>ノッチ</th><th>定格周波数
(Hz)</th><th>消費電力
(W)</th><th>風量（0pa 時）
(m³/h)</th><th>騒音
(dB)</th><th>製品質量
(kg)</th></tr>
<tr><td rowspan="8">100</td><td rowspan="2">強</td><td>50</td><td>80</td><td>315</td><td>44</td><td rowspan="8">45.5</td></tr>
<tr><td>60</td><td>100</td><td>350</td><td>46</td></tr>
<tr><td rowspan="2">中</td><td>50</td><td>60</td><td>260</td><td>40</td></tr>
<tr><td>60</td><td>70</td><td>240</td><td>40</td></tr>
<tr><td rowspan="2">弱</td><td>50</td><td>36</td><td>100</td><td>27</td></tr>
<tr><td>60</td><td>50</td><td>80</td><td>25</td></tr>
<tr><td rowspan="2">連続</td><td>50</td><td>20</td><td>70</td><td>21</td></tr>
<tr><td>60</td><td>23</td><td>70</td><td>21</td></tr>
</table>

消費電力、風量、騒音の測定は JIS C 9603 による。

騒音値、風量は実際の使用条件では変化しますのでご了承ください。

室内循環フードに使用している部品は、性能向上などのために予告なしに一部変更することがあります。

- ● 脱臭フィルタ　　：ハニカム構造カーボンフィルタ
- ● 脱煙フィルタ　　：制菌加工付き準 HEPA フィルタ
- ● エアフィルタ　　：難燃性ポリアミド
- ● 油吸着フィルタ　：ハニカム構造セラミックフィルタ
- ● 自動運転停止装置：サーモスタットによる電源 OFF（作動時、電動シャッタ閉）

アフターサービス（必ずお読みください）

補修用性能部品の最低保有期間

● 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切り後６年間保有しています（フィルタを除く）。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ご不明な点や修理に関するご相談は

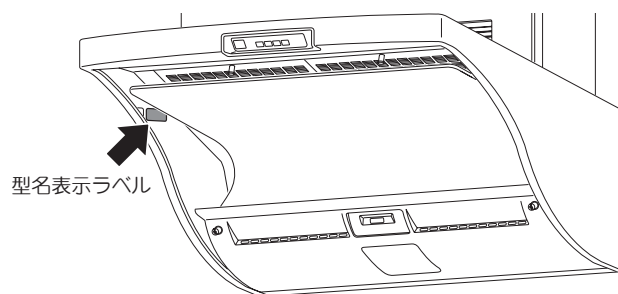
修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

● 製品の保証期間は、お買い上げ後取扱説明書、本体貼付ラベルの注意書に従った正常なご使用状態において１年間です。
ただし、次の場合には保証期間内でも有料になります。
(1) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、異常電圧等不慮の事故により生じた故障および損傷。
(2) 使用上の誤り、改造等による故障および損傷。

修理を依頼されるときは

20 ページに従って調べていただき、なお異常のあるときはご使用を中止し、必ず電源プラグを抜くか、分電盤のブレーカを切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容	
品　名	室内循環フード
型　名	
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

お買い上げの際に記入しておくとサービスを依頼されるときに便利です。

型名は本体の左側面内側に表示してあります。

愛情点検

★長年ご使用の製品の点検を

ご使用の際、このような症状はありませんか？	● スイッチを入れても、動かないときがある。 ● 運転中に異常な音や振動がある。 ● 焦げ臭いにおいがする。 ● その他、異常・故障がある。

ご使用 中　止	このような症状のときは、故障や事故防止のため、ブレーカを切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

修理料金の仕組み

- 修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
- 技術料は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- 部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。
- 出張料は、お客様のご依頼により、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

各フィルタの使用期間の目安となりますのでご記入ください。

各フィルタご使用開始日

●脱臭・脱煙・エアフィルタ セット：ADFRK-33346（使用目安：３年）　　年　　月　　日

●油吸着フィルタ　：MFRK-33346（使用目安：12 年）　　年　　月　　日

交換のお申し込み・お問い合わせはフジテックメンテナンス株式会社までお願いします。

保　証　書

型名　VLT-RK-902

保証期間	1年間	★お買い上げ日	年　月　日

★お客様	ご住所	〒□□□-□□□□
	お名前	様　TEL（　　）
★販売店	住所	印 または サイン
	店名	TEL（　　）

★印欄に記入のない場合は有効とはなりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。もし、記入がない場合には直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

記

本書は、本書記載内容で、無料修理させていただくことをお約束するものです。

1．お客様の取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書による正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合には、お買い上げの販売店に出張修理をご依頼のうえ、修理に際して、本書をご提示ください。無料修理させていただきます。
2．なお、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
3．つぎのような場合には保証期間内でも有料修理になります。
(1) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
(2) お買い上げ後の落下や輸送上の故障および損傷。
(3) 火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧およびその他の天災地変による故障および損傷。
(4) 本書のご提示がない場合。
(5) 本書にお客様名、お買い上げ日、販売店名のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
(6) 一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障および損傷。
(7) 車輛、船舶などに、備品として使用した場合に生ずる故障および損傷。
4．本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
5．ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
6．離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理をおこなった場合は、出張に要する実費を申し受けます。

お客様へ　この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間などについて、詳しくは取扱説明書をご覧ください。なお、ご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社にお問い合わせください。

修理記録	年月日	修理内容	担当者

販売元：富士工業販売株式会社
製造元：富士工業株式会社
〒252-0206　相模原市中央区淵野辺２丁目１－９

1J02 0782

標準使用期間の本体表示について

（本体への表示内容）

※ 経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために右の内容の表示を本体におこなっています。

⚠	【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります。 【設計上の標準使用期間】10年 設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

（設計上の標準使用期間とは）

※ 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※ 設計上の標準使用期間は、無償保障期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

●「経年劣化とは」
長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

■標準使用条件　　日本工業規格 JIS C 9921-2 に準拠

環境条件	電圧	単相　100V	
	周波数	50Hz 又は／及び60Hz	
	温度	20℃	JIS C 9603参照
	湿度	65%	JIS C 9603参照
	設置条件	標準設置	取付説明書による
負荷条件		定格負荷	取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	運転時間 台所　2 410時間／年	

お客様の個人情報のお取り扱いについて

当社および当社関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記の通り、お取り扱いします。

1．当社は、お客様の個人情報を、当社製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2．当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3．お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

修理依頼について

修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店、またはシステムキッチンメーカーにご連絡ください。

お客様メモ	購入店名　　　　電話　（　　）
	（システムキッチンメーカー名：　　　）
	ご購入年月日　　平成　　年　　月　　日

『サットレールスプレー』『サットレールシート』の
お取り扱い窓口は
フジテックメンテナンス株式会社

お申し込み・お問い合わせ　0120－953－903
ＦＡＸ　042－768－3383
ホームページ　http://www.satlehl.jp/
受付時間　9:00～17:45（土、日、祝日、夏季休暇、年末年始を除く）

〔販売元〕富士工業販売株式会社
お客様ご相談窓口　0120－071－686
受付時間　9:00～18:00（土、日、祝日、夏季休暇、年末年始を除く）

〔製造元〕富士工業株式会社
〒252-0206 相模原市中央区淵野辺２丁目１－９